

表紙，目次，中扉，執筆者紹介，奥付

雑誌名	八丈方言調査報告書：消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究
発行年	2013-10-30
URL	http://doi.org/10.15084/00002400



消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 八丈方言調査報告書



木部暢子 [編]

2013年10月

「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」 八丈方言調査報告書

目 次

はじめに

1. プロジェクトの概要	1
2. 調査の概要	3
3. 八丈方言の概要	
八丈方言の音韻（松浦年男）	9
八丈方言における新たな変化と揺れをめぐって（金田章宏）	31
八丈方言の語彙—1950年調査との比較—（木部暢子）	39
八丈語の古さと新しさ（平子 達也・トマ ペラール）	47
4. 八丈方言の特徴	
ママをたずねて三千里—八丈方言の系統的位置について— （ローレンス・ウエイン）	71
八丈町の「八丈方言」継承の取り組み（茂手木清）	77
八丈語と八丈島の歴史（林薫）	89
5. 八丈方言調査データ	
八丈方言基礎語彙データ（音声記号表記）	97
八丈方言基礎語彙データ（かな表記）	126
八丈方言文法項目データ（音声記号表記）	159
八丈方言文法項目データ（かな表記）	193
八丈方言基礎語彙 共通語索引	229
八丈方言文法項目 一覧	237
6. 「八丈・島ことば調査のつどい」講演記録	239
7. 八丈方言調査に関する新聞報道	253

八丈方言の概要

八丈方言の特徴

執筆者紹介

松浦 年男（まつうら としお，北星学園大学）

金田 章宏（かねだ あきひろ，千葉大学）

木部 暢子（きべ のぶこ，国立国語研究所）

平子 達也（ひらこ たつや，京都大学大学院生）

Thomas Pellard （トマ・ペラルール，フランス国立科学研究所）

Wayne Lawrence （ウェイイン・ローレンス，オークランド大学）

茂手木 清（もてぎ きよし，八丈町教育委員会）

林 薫（はやし かおる，八丈町教育委員会）

国立国語研究所共同研究

消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究 八丈方言調査報告書

2013年10月30日発行

編集 木部暢子（国立国語研究所時空間変異研究系）

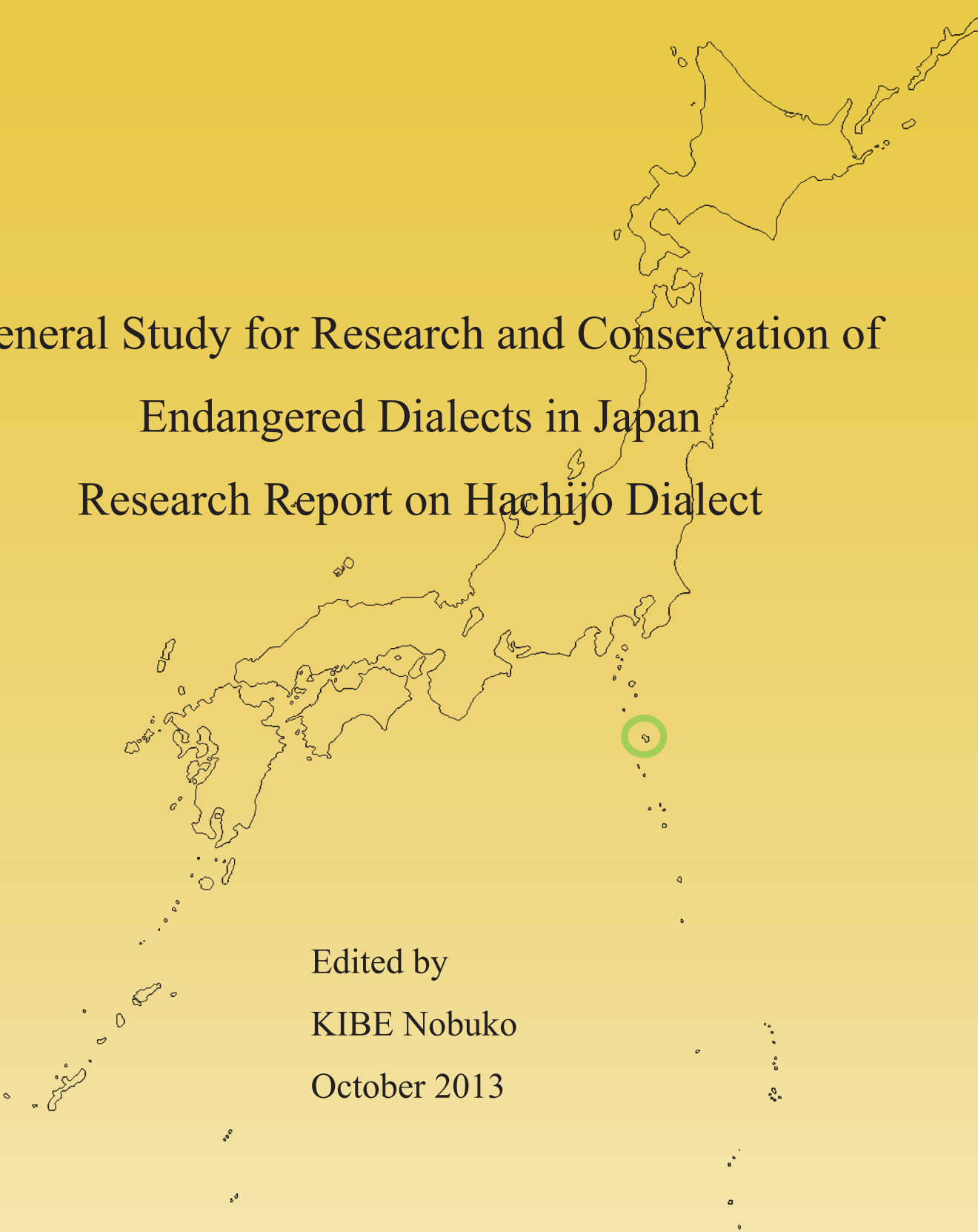
発行 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町10-2

Tel.042-540-4538（木部研究室）

<http://www.ninjal.ac.jp/>

©国立国語研究所

An outline map of Japan is positioned in the background. The islands of Hokkaido, Honshu, Shikoku, and Kyushu are visible. In the southern part of the country, the Ryukyu Islands are shown. One island in the Ryukyu chain, Hachijo Island, is highlighted with a green circle.

General Study for Research and Conservation of Endangered Dialects in Japan Research Report on Hachijo Dialect

Edited by
KIBE Nobuko
October 2013